



北美六



1年生の学年レクで「令和」を表現

清々しい挨拶

校長 荻野 款司

朝、なるべく正門に立ち、登校する皆さんを迎えるようにしています。ごく普通の私の挨拶に対し十人十色の声が返ってきます。こちらを向いての挨拶、笑顔を交えての挨拶、声をそろえての挨拶、軽く会釈をしながらの挨拶、大きく息を吸って勢いのある挨拶、わりと遠いところからの大きな挨拶、同じ人でも日によって様子が変わる挨拶。正門を通るすべての人に声をかけるつもりで連続の挨拶は、大げさな表現ですが呼吸困難になりそうな時もあります。挨拶が返ってこない時には「こちらの声が小さかったかな」「朝、何かあったのかな、調子が悪いのかな」と心配になります。一挨拶（いちあいいっさつ）という言葉もあるようですが、「挨拶」は「心を開く」、「『拶』は「迫る」という意味があり、『心を開いて相手に迫る』姿が様々な挨拶として声や形に表されます。正門に立ち三年目、この四月の挨拶は、これまでで一番清々しく、ずっと続くことを願っています。

転任者の言葉

六ツ美北中の「全力」

島中 恵実

四年間ありがとうございました。これからも、六ツ美北中の「全力」が見られることを期待しています。



たくさんのご感謝を込めて

手島 露子

今も、ふとした瞬間に、皆さんの歌声が聴こえるようです。温かな日々をありがとうございました。



九年間に感謝

小田 慶明

九年間という長い間お世話になりました。かわいいた生徒と、素敵な仲間を支えられた楽しい時間でした。ありがとうございました。山の上から、ムッキーの活躍をお祈りしています。



(甲山中へ)

最上級のありがとうを

遠所 文子

言葉に尽くせないくらい六ツ美北中の皆さんからたくさんのご指導をいただきました。一つひとつが私にとってかけがえのない宝物です。七年間、本当にありがとうございました。



(美川中へ)

大感謝です

坊田 千里

みんな味方だから大丈夫。真懸笑部！みんな両思いでいてください。相思相愛！また会う日まで！



(葵中へ)

自分だけの花を

柴田果里奈

置かれた場所で花を咲かせよう。これは私の信念です。花はどんな環境でも咲こうと頑張ります。色も形も違うけれど、私も自分なりの花を咲かせてみせます。あなたもきっと、咲かせられるはずですよ。



(東郷町立春木中へ)

六ツ美北中の皆さんへ

加藤 朱実

同じ時を過ごし、共に喜び、共に悩み、全力で頑張れることの幸せを分かち合える四年間で、ありがとうございました。「いつでも全力！」大切にします。ありがとうございました。



(六ツ美中へ)

感謝

平賀 美保

皆さんと離れて寂しいですが、それ以上感謝の気持ちでいっぱいです。これからも人に優しい夢輝星でいてください。



(竜海中へ)

卸(ぼたん)

青柳 巧仁

お世話になりました。六ツ美北中ではシュレッターの停止ボタンは必須でしたが、それも懐かしいです。



(六名小へ)

出会いに感謝

高橋 享子

短い期間でしたがとても濃く、今後の教員生活にはなくてはならない経験でした。温かく熱心な指導をされる先生方。それに応えようと努力する生徒達。親子共々この学校での出会いに感謝しています。



(みあい特別支援学校へ)

感謝

川瀬 尚巳

六ツ美北中学校には、給食配膳員として六年間お世話になりました。とても素敵な子の学校で働くことができましたことに感謝いたします。



(ご退職)

新任者代表の言葉

よろしくお願ひします

校務主任 岡安美智子

気持ちのよい挨拶ができ、活気あふれる生徒の皆さんと学校生活を過ごせることをうれしく思います。新任者一同、精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

